

「身体」から問い直す知的障害特別支援教育における 自立活動の指導のあり方（2）

—指導内容と選定プロセスにおける「身体」の関連を検討する—

企画者	岩井 俊夫（筑波大学附属桐が丘特別支援学校）
	山田 康朝（千葉県立四街道特別支援学校）
司会者	山田 康朝
話題提供者	丸山 真幸（筑波大学附属久里浜特別支援学校）
	岡田 奈美（千葉県立桜が丘特別支援学校）
	本多 克敏（大阪教育大学附属特別支援学校）
指定討論者	久田 信行（群馬医療福祉大学）
	広田 徳子（埼玉県中学校：保護者）

KEY WORDS: 「身体」 自立活動 指導内容

【企画趣旨】

2 年目を迎える本シンポジウムは、特別支援教育の根幹を為す教育活動である自立活動について、「身体」の視座から、新しい自立活動の指導のあり方を提唱することを意図している。「自立活動の指導実践における構成要素（教員・指導内容・指導方法・評価）」をテーマとして設定し、事例や調査報告等の実践的な話題提供を通じて「身体」が包含する性質や意味から「問い直す」プロセスを重視し議論を進めていくものである。（図）

昨年度は、「教員の意識」をテーマに、教員自身による語り（ナラティブ）の分析、若手教員を対象とした「身体」と自立活動に対する印象や指導観（イメージ）の調査結果、教育以外の分野（医療、心理）からみた自立活動への疑問と期待、という 3 点の話題提供及び議論を行った。

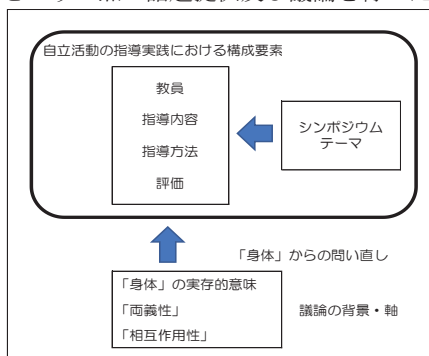


図 シンポジウム・テーマの構成

今年度は「指導内容」をテーマとして取り上げる。特別支援学校学習指導要領（平成 29 年告示）で大綱的に示されている自立活動の「指導内容」については、具体的な項目として 6 区分 27 項目が挙げられており、幼児児童生徒の個々の実態を踏まえて必要とされる項目を選定した上で、それらを相互に関連付けて設定することが重要とされる。

しかし、「指導内容」が体系的に示されている教科指導とは異なり、「教科書のない授業」とも言われる自立活動であるが故の問題がある。例えば、「指導内容」選定のプロセスにおける目標や課題との整合性の問題、また、「指導内容」として採択した方法や理論の適合性の検証等が挙げられる。

そこで、今回のシンポジウムにおいては、2 つの事例（知的、肢体）及び運動学習の視点を採り入れた取組みについて話題を提供し、議論を行う。更に、「指導内容」を多角的に検討する為に、保護者の視点から見た自立活動への期待やニーズについて、議論のプロセスに組み込んでいく。

なお、題目を「知的障害特別支援教育における自立活動」としているが、話題提供（者）は知的障害の学校だけに限ってはいない。この意図するところは、「身体」の視点を加味し、知的障害における自立活動をどう考え実践するかについて検討することは、自立活動の本質を考える上で最良である、との立場をとることに由来している。この点については、今後の議論の中でも触れていきたい。

【話題提供者の趣旨】

（丸山真幸 氏）知的障害を伴う自閉症児に対して行った自立活動の指導について、なぜその指導内容を設定したのか、また、対象児童の変容から指導内容が対象児にとってどのような意味があったのかについて、「身体」と関連付けて言及したい。指導内容の設定にあたっては、授業や日常の行動等から得られた情報より実態把握図を作成・解釈した。また変容に関しては、他者（教師）とのやりとりを通じた経験の記述とその分析を中心に報告する。

（岡田奈美 氏）肢体不自由特別支援学校で自立活動部に所属（自活専任）している。担当する児童生徒は、準ずる教育課程、下学年適用の教育課程、自立活動を主とした教育課程にそれぞれ在籍している。話題提供では、2 年間担当している自立活動を主とした教育課程で学ぶ小学部 A について、これまでの指導内容についての授業者（話題提供者）自身の振り返りから、自立活動をどのように捉え、実態を把握し、目標を設定して「指導内容」を組み立てたかについて、これまでの経過を含め報告する。

（本多克敏 氏）知的障害特別支援学校において、自立活動の指導に「運動学習のメカニズム」を採り入れた実践に取組んできた。模倣と「身体」の一人称視点に着目し、「走るフォームの改善」や「手指の巧緻性の向上」等を具体的な「指導内容」として選定した。話題提供では、「身体」の動きの実感を大事にした授業作りの考え方を報告する。

なお、上記の話題提供全てにおいて、日本特殊教育学会の倫理綱領に則って個人情報を取扱うものとする。

【指定討論者の趣旨】

自立活動の指導内容については、五つの区分、健康の保持、心理的な安定、人間関係の形成、環境の把握、コミュニケーションは全ての知的障害児に必須の内容である。討論では、身体の動きが必須であるか否か、具体例の検討から探ることになるだろう。

（IWAI Toshio, YAMADA Yasutomo, MARUYAMA Masayuki
OKADA Nami, HONDA Katsutoshi, HISATA Nobuyuki,
HIROTA Tokuko）